

令和4年7月期月次景況調査結果

この調査結果は、地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

7月期の景況DI値は、一部に受注や生産・販売が順調な業種があるものの、続く原材料等の高騰やコロナの急激な感染拡大が、多くの業種の経営に影響を与え、横這いで推移している。

原材料等の高騰は、製造原価や仕入価格を上昇させるも、価格転嫁のタイミングに苦慮している中小事業者が多く企業収益を圧迫しており、また、7月中旬以降のコロナの急激な感染拡大は、行動制限がなく回復基調にあったサービス業や商店街等において、客足を遠退け消費需要を減少させている。

さらに、第7波となるコロナ感染拡大は、従業員の人手不足に拍車をかけ、経営に支障を来たしているとの報告も多く、先行きを不安視する声が高まっている。

山口県の主要指標DI値（令和4年7月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、好転：5.0% 悪化：38.8% DI値：▲33.8% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、増加：25.0% 減少：30.0% DI値：▲5.0% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、好転：3.8% 悪化：40.0% DI値：▲36.2% ポイント

山口県の業種別DI値（業界の景況）（令和4年7月末現在）

 30以上	 30未満～ 10以上	 10未満～ ▲10以上	 ▲10未満～ ▲30以上	 ▲30未満
---	--	---	--	--

食料品	織維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲62.5	▲50.0	▲66.7	▲50.0	▲33.3	▲11.1	0.0	▲37.5
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
▲20.0	▲37.5	▲20.0	▲36.4	▲27.3	▲28.6	▲100.0	▲31.2
							

全体
▲33.8


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	燃料高、原材料高が依然続いているが、値上げで客離れを恐れている組合員が多く、タイミングを計っている状態である。県民割のクーポンで長門湯本温泉においては一見の観光客によって売上が微増である。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	原材料や燃料費が上昇し収益を圧迫している。	水産食料品製造業 長門市
	新型コロナウイルスの影響により、観光客が大幅に減少し、土産物商品の売上減少が想定外に大きい。漁獲量が減少し、漁師の廃業が年々増加している。他では、外国人技能実習生を海外から雇用しているが、当組合は実施しておらず、人手不足が続いている。	水産食料品製造業 下関市
	コロナの影響による業況は、当組合員の業種によって変わらない組合員と季節的に厳しい組合員とに分かれている。入国制限の為、外国人技能実習生の人数が減って生産量を減らす必要があり、その為売上が減少する等の影響がある。冬に向けて外国人技能実習生の受入準備が始まっているが、実習生の入国が遅れると生産量にも関わってくる。	
	社内でコロナ感染者が発生し、1週間の臨時休業を決断。蔓延防止措置はとっていても感染力の強さと速さに驚いている。	食料品製造業
	コロナの感染再拡大に伴い社会情勢が不安となる中で、飲食店なども通常営業しているが、売上の回復は見込めず、原油価格の大幅な上昇に伴う各種コストの増加傾向により、製造原価が上昇し、事業活動が更に苦しい状況となっている。ロシアがウクライナに侵攻し、5ヶ月が経過したが、全く終息する気配も無く、原油、天然ガス等の資源不足が懸念されている。また、ウクライナは世界有数の穀倉地帯でもあるので、食料不足に伴う穀物価格の上昇している。	精穀・製粉業
繊維工業	現地へ行けず、オンラインで外国人技能実習生の面接を行っている状況。	下着類製造業
	秋もの衣類の受注量は安定しており、生産も順調であった。原材料高騰の転嫁については、消費者の理解が必要であり、現在はタイミングを計っている状況。	外衣・シャツ製造業

木材・木製品	<p>建築・木材業界全体が低迷しているが、地域の工務店は、毎日の酷暑もあり四苦八苦の状況。ウクライナ紛争でロシア材が入荷困難となり、赤松材が不足している。関連商品の高騰品薄と原油高や円安による便乗値上と思われるものもある。値上がり前に材料を押さえておきたいという建築業者の駆け込み需要が少々あるだけである。</p>	製材業・木製品製造業 岩国市
	<p>乾燥木材の売上が、前年同月より微増。</p>	製材業・木製品製造業 山口市
	<p>当組合のコロナによる影響が出始めた時期は令和2年4月以降である。組合員の平均売上額は、コロナ前の令和元年7月に比べ20%の減少、コロナ禍の令和3年7月と比べ10%の減少だが、増加傾向の事業所と依然減少が続く事業所とが混在している状況。国産スギ・ヒノキの丸太価格については下降傾向。米松丸太が8月より値上げの予定。それに伴い製材・製品についても値上げ予定の組合員と価格転嫁に足踏みする組合員もある。電気代、ガソリン、灯油、軽油等エネルギー全般の値上げが経営に大きく打撃を与えている。</p>	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	<p>昨年より僅かに売上は上がったが、仕入れ価格が上昇しているため収益に関しては好転しているとは言えない。顧客には、今後も値上げのお願いをしていくしかない。</p>	印刷業 山口市
	<p>全国的に再び新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、第7波への懸念が大きくなっている。エネルギーや原材料の高騰、食料品等においても物価高が国民生活を圧迫しているが、まだ解決策などの出口も見えない厳しい状況である。印刷業界においても、原材料である紙やインク、刷版等の値上げが企業収益を直撃していることはいまでもなく、更に今後、コロナの第7波による経済の停滞が発生すれば弱体化している財務体質の更なる悪化を招く恐れがある。すべての面において、10年前の手法は通用しなくなっており、付加価値を見出す新しい着眼や手法が求められる段階の時代に入ったと思料する。</p>	印刷業 下関市
窯業・土石製品	<p>2022年1月に値上げを実施したが、市場調査で山口県は6月より広島県は7月より調査会の単価が値上げされた。毎月のように何かは値上げされている状況で、販売価格の転嫁が必須な状況になっている。</p>	コンクリート製品製造業 防府市

	<p>重油、鋼材等の値上げにより利益が圧迫される現状が続いている。お客様へ値上げ案内をしても3ヶ月後には更に値上げする現状であり、労働時間においても増加するなど悪循環となっている。またコロナの影響により、お客様への訪問を控えなければならない現状があるため、説明不足となっている。</p>	<p>コンクリート製品製造業 柳井市</p>
	<p>出荷量は、前月比121%、前年同月比96%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は県内で上昇傾向である。</p>	<p>生コンクリート製造業</p>
	<p>移動制限解除後、関東圏のお客様よりお墓の移転・修理依頼が一気に増えた。お墓参りに帰省され、打ち合わせもスムーズに進み、工事内容に納得していただいているが、梅雨明けにも関わらず雨の日が多いため、工事が捗らないのが現状である。</p>	<p>石工品製造業</p>
	<p>7月の売上高は、小売は前年比で減少。卸売は前年比で増加。萩市の観光客は、連休・土日以外は少ない状況。</p>	<p>陶磁器・同関連 製品製造業</p>
一般機器	<p>5月より続いていた周南コンビナートの大型定修工事も落ち着いたが、例年通り、各事業所、小規模ではあるがメンテナンス工事、増設工事などが続いており、全体的に仕事量はある模様。材料価格高騰分は、再検討いただき、自己負担になる企業はほとんどないようだが、ユーザーの計画が変わってきており今後は心配である。</p>	<p>一般機械器具製造業 下松市</p>
	<p>ここ半年は繁忙で残業も休日出勤もあったが、暫くすると減少の見込み。円安の影響で輸出業界は1年後にピークが来るのではと期待している。材料、購入品等の仕入単価の高騰が経営を圧迫しつつある。材料費や購入品、電気料金、その他すべて値上がりが続いている。購入品の長納期や納期未定品は全く解消されていない。物品が揃わないため納期も不確実になり、受注に様々な悪影響が及んでいる。7月も配管材料の値段が上がったうえ、在庫不足、従業員のコロナ感染により作業効率がダウンし、人手不足が深刻である。他の同業者ではこの状況で外国人の雇用を進めているか、又は雇用している。自動車業界としては低迷しているが、大手メーカーとしては今後も見通しが明るい模様で安心している。</p>	<p>一般機械器具製造業 防府市</p>
	<p>新型コロナウイルスの蔓延による企業業績への影響はなく、中国のコロナ対策もひと段落、業績に大きな影響は出ていない。しかしながら、円安、ロシアのウクライナ侵攻に伴う資源高、資源不足が徐々に経済に影響を及ぼしてきている。人材確保の面で</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p>

	<p>は、コロナの影響で遅れていた面接も徐々に進んではいるが、ベトナム、インドネシアにおいて事務が輻輳し手続きが遅れ、新規の受け入れが遅れている状況。また、円安の影響は大きく、欧米、アメリカ、カナダ、韓国との人材確保競争は厳しいものがあるとともに、国内でも都会の高賃金に対抗できず募集しても人が集まりにくい状況である。</p>	
	<p>6月と同様に原材料価格の高騰が続き、収益が悪化しているのに加えて、第7波感染急拡大を受け、先行きを不安視する傾向にある。</p>	
輸送機器	<p>鉄道車両関係は順調に推移しており、外国からの受注は2年間確保されているが、国内の受注は令和5年度以降の新車両計画が大幅減少見通しで、それに伴い受注高も減少が見込まれる。半導体は、例年の2~3倍の受注量で引き続き好調。工場新設により操業率のアップを見込まれる事業所も3~4社あり、2~3年は順調に推移する見通し。原材料や燃料費の高騰が相次いでおり、価格転嫁がすぐには厳しい状況で交渉継続中である。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>倉庫売上は昨年と同等であり、コロナ前と比較してもほぼ変化はない。しかしながら、電気料金が値上げされたので、7月は15万円のアップとなり、8月は24万円のUPとなる見込みで大変厳しい状況にある。</p>	乾物卸売業
	<p>原油高及び原材料の高騰が仕入価格にも影響している。</p>	各種商品卸売業 防府市
	<p>コロナの変異株により、7月の中頃から急激に感染者が増加したので、売上への影響が懸念される。</p>	各種商品卸売業 山口市
小売業	<p>7月初旬はコロナが終息に向かう雰囲気各店舗とも売上が伸びていたが、中旬からまた感染が拡大し客足が遠退いている。元気やまぐち券や各市町村のプレミアム券に登録しているお店は売上があるが、前年ほどではない。8月に化粧品メーカーの秋の新商品が出るのでその紹介や予約活動が大切になる。</p>	化粧品小売業
	<p>エアコンの販売が好調で在庫が減少、追加注文の入荷が1ヶ月後の予定となり、販売チャンスがなくなる。冷蔵庫、洗濯機も伸びている。</p>	機械器具小売業
	<p>前年同月比約93%の売上。内訳ではサービス券売上が前年比増加。商工会議所主催の夏まつりが開催され、街中の賑わいに伴い駐車場売上が微増した。</p>	各種商品小売業 周南市

	<p>6月の売上は対前年比12%の増加。7月1週目から3週目までは対前年比10%程度の増加で推移した。昨年はオリンピックで4連休となったが今年は通常通りの休日であったため、4週目の売上が大幅減少となり、累計月商はほぼ昨年と同じであった。電気代・ガス代に始まり消耗品・資材関係の値上げによる収益圧迫が心配である。</p>	各種商品小売業 萩市
	<p>7月の供給高、前年比107.0%、来店者数101.9%。7月7日～10日には、3年ぶりに店内ミニ祭で「七夕まつり」を開催し、7月7日は前年比165.1%、来店者数166.3%と好調だった。プレミアム率30%のお得な下関市地域振興券(使用期限7月1日～10月31日)が始まっており期待をしている。コロナ感染者が急増している。</p>	各種商品小売業 下関市
商店街	<p>第七波。爆発的な感染拡大で消費は一気に冷え込んだ。それだけなら耐える術を身につけてきたが、陽性または濃厚接触の判定で待機命令が出されることにより、営業店舗の人材が不足、またはパパママストアは全員欠員。それが10日間にも及び、収入・収益が0となると、資金繰りがショートし、中には手形が落ちない致命的な事もおきる。この制度のままでは、陽性になっても仕事に出たり、発熱しても検査を受けなかったり、濃厚接触や待機指示に対して虚偽の報告を行う者がでてきかねない。</p>	岩国市
	<p>コロナ感染者が再び増え始め、街には何となくあきらめムードが漂っている。夏の暑さによる人出の少なさが影響しているのか、現状を静観したい。</p>	宇部市
	<p>商店街の人出は多くなってきた。今年度もイベント補助金が商店街を潤す材料となればよいが、この補助金を当てにし、本来の商店街を盛り上げていく気迫が薄れていくような気がする。差し当たり今年度も予定されているので頑張っていかなければならない。</p>	萩市
	<p>県内コロナ感染者の激増により、高齢者の利用割合の多い当商店街は諸に影響を受け、人通りが激減している。月末にポイント祭りを予定しているので、なんとか商店街の売上増加に繋げたいものである。</p>	下関市
サービス業	<p>7月中旬から爆発的にコロナの発症が増え、顧客のキャンセルや従事者の体調不良などで売上が減少。初旬から中旬まで好調に売上を伸ばしていたが、ほぼ前年通りに落ち着きそうである。</p>	美容業
	<p>7月初旬は順調に回復傾向にあったが、コロナ感染者が急激に増えたころから外出自粛の動きが見られる。</p>	理容業

	自動車整備業界にまたも大きな衝撃が走っている。整備工場を持たず自動車整備士の派遣業を始めているようである。本来は整備工場を置きそこで仕事をするので、国から認証を受けることができるが、法の盲点について都会では実際に行われているという。これがまかり通れば、国の認証を受けた整備工場は仕事が無くなり、廃業に追い込まれることになる。山口県では、まだ実態が掴めていないが、国と連携して対応するしかない。	自動車整備業
	オミクロン株大流行により入会キャンセルが多数発生。回復基調が右肩下がりになった。	スポーツ・健康教授業
	昨年よりはお祭りなどのイベントも開催されるようになり浴衣などこの時期特有のアイテムもでるようになったが、コロナの感染再拡大により市場全体の消費は落ち込んでいる。原材料高騰により値上げに踏み切る業者も多いが、消費者のさらなるクリーニング離れも懸念される。	普通洗濯業
	コロナ感染者数の再増加に伴い、来店者数が激減、予約もキャンセルが続いている。その中で来店頂けるお客様にしっかりとサービスの提供をしたいのだが、従業員も濃厚接触者となり出勤が出来ず接客スタッフのいない状況もあった。また、雇用調整補助金申請基準範囲等も狭くなり、従業員の生活も会社の経営も厳しい状態である。一日も早い状況の回復を切に願っている。	飲食業
	J R 西日本との J R 券販売契約が 6 月末にて終了した。手数料の収受もなくなっている。他の物品販売等計画中等である。	旅行業
	新型コロナウイルス感染対策の規制が緩和され、県民割及び隣県割の利用者拡大により前年を大きく上回ることが出来た。しかしながら、コロナ前の令和元年 7 月と比較すると売上比 77.6%、宿泊人員比 84.4%となった。1 ホテルの大浴場改修工事で 6/8-7/7 まで全館休館があり、施設数の減少が影響したものと思われる。	旅館業 山口市
	売上としては 120~140%位アップしている。団体客はないが個人客が入ってきている。7 波の初めはキャンセルも多かったが、上手にコロナ対応されるようになり後半は通常のキャンセルに落ち着いている。	旅館業 下関市
建設業	中電への工事申請 164 件(当支部 127 件)、前年同月 150 件(同 128 件)。太陽光発電への申請 27 件(前年 39 件)、オール電化申請 96 件 (前年 63 件)。LED 街路灯への切り替え・新設申請 8 件(前年 27 件)であ	電気工事業

	った。	
	月毎の工事施工量の対前年比の減少が1年余り続いたが、徐々に回復に向かっている事業所が多い。	左官業
	7月の官公需は順調な入札数であったが、組合員の中で明暗があった。民需の住宅関連の発注が多く、忙しい状況であった。周南地区の新型コロナウイルスは増加傾向であり、感染者・濃厚接触者等の療養・待機期間等により、人手不足に拍車がかかった。依然として人手不足は解消できず、皆忙しくしている。	管工事業
	7月の受注高は、対前年同月比 97.3%。令和4年度の累計では、対前年比 64.2%。	一般土木工事業 萩市
	令和4年7月の長門地区公共事業受注高をまだ把握していないので、8月に検討する。	一般土木工事業 長門市
	図面変更や保留が多く手待ち状態が続き工場稼働率が伸びない。忙しい組合員もいるが、全体的には暇な状況で同業他社の手伝いで仕事を確保している。材料価格高騰により収益の確保が困難な状況で今後も厳しい受注環境が続きそうである。	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	輸送関係はコロナの影響による減少が続き、中近距離輸送は平行線。収支対比は 0.5%の減少。燃料費関係は7円の値上げ。燃料価格上昇に加え、輸送量の減少に中小輸送業者は軽油引取税の考慮をしてほしいとの声が高い。	一般貨物自動車運送業 下松市
	自動車関連においての輸送取扱高は前年比 30%程度の増加、前年同月は半導体不足の真只中にあり、大幅な落ち込みの月であったので、コロナ不況前の水準には遠く及ばない。燃料価格については一服感があるも高水準に推移している。	一般貨物自動車運送業 防府市
	輸送に関しては、製造業関係がかなり忙しくなっており、製品部品輸送と合わせて、倉庫での保管案件もかなり増え、その他、輸入品も持ち直してきている模様。百元ショップなどの日用雑貨用品も荷動きが増えている。新企案件が増えているが人員の確保は難航している。	一般貨物自動車運送業 宇部市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比+38.5%（令和4年6月1日～令和4年7月20日分）だった。6月1日～30日分は+51.4%、7月1日～20日分は+18.3%。前々年もコロナ感染の影響があったので、前々年度比では、それぞれ+44.6%、+1.3%、+26.6になる。当組合の取扱いタクシー事業者は、周南市、光市、下松市、防府市の地域。6月分については、周南+46.9%、下松+73.8%、光+62.1%、防府市地区は+54.9%で、組合員の全域では+53.7%、地区外（員外）+37.3%、合計+51.4%(+5,058千円)だった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPは減少したが（前月805\$/トンが今月737.5\$/トン、前年572.5\$/トン）、フレート（輸送）コストが上昇（前月10,200円/トンが今月11,100円/トン）した。為替も円安（前月129.81円/\$が134.93円/\$）。燃料単価は前月より▲2.0%下がったが前年7月比+29.0%であり、たいへん厳しい状況。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。ウイズコロナで、需要が回復しつつあるが、コロナ感染の発生が急速に拡大しており、移動制限、移動自粛による需要減少に加え、乗務員や職員からの感染発生も危惧される。</p>	<p>一般乗用旅客 自動車運送業</p>
	<p>7月は、ほぼ同水準で推移している。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他</p>	<p>7月の状況は特に変化はないが、高齢者施設でのクラスター発生やオミクロン株亜種型「BA.5」の感染が初確認され、山口県内でも感染者数が500人を超える等新型コロナウイルスの影響が強く出そうである。組合活動としては、今後も組合員の募集と予定されている外国人技能実習生の応募を開始し、コロナ禍においても状況改善に向けて動いていく。</p>	<p>介護事業</p>